

身近な環境のこと、考えていきましょう

環境生活課 ☎32-2051

**地球温暖化防止啓発番組**  
地球温暖化防止月間にあたる12月に、ケーブルテレビとコミュニティ・エフエムを通じて、地球温暖化防止に関する番組を放送しています。

**地球温暖化防止出前講座**  
市民劇団による地球温暖化防止を題材にした劇を上演しています。

※これらの事業は、全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施しています。

**環境体験ツアー「森の学校」**  
小学生と保護者が里山を散策して自然のすばらしさを感じるとともに、炭焼き体験や広葉樹の植樹を行うことで、豊かな自然を守ることの重要性を学んでいます。

**環境体験ツアー「水の学校」**  
小学生と保護者を対象に、吉井川とその支流で水質調査や水生生物の生息調査を行うことで、水質保全の重要性や自然を保護していくことの大切さを学んでいます。



市では、皆さんに地球環境問題を身近に考えてもらうため、次の事業を行っています。今後も環境や自然を大切にすることを育てる取組を行っています。

**グリーンカーテン講演会・作品展**  
夏場の電力消費量を抑えるために、市民にグリーンカーテンづくりを呼び掛け、栽培講習会を開催したり、グリーンカーテンの写真を募集して「グリーンカーテン作品展」を実施したりしています。



フェイスブックを始めました

秘書広報室 ☎32-2029



市では、皆さんに市政をより身近に感じてもらうため、フェイスブックページを使った情報発信を始めました。皆さんの“いいね”“コメント”“シェア”をお待ちしています。

フェイスブックって何？

インターネットを使った交流サービスです。個人や団体が実名を使用して発信する情報を見た人が“いいね”や“コメント”などの反応をすることができます。その情報や反応がフェイスブック参加者の中でつながっていきます。

市では、どんな情報を発信するの？

市が行うイベントや行事、市政に関すること、津山市の魅力などの情報を、複数の部署から発信します。

どうすればフェイスブックを見ることができるの？

市ホームページのトップ画面の右側に入り口を設置しています。そこからもアクセスできます。

※24ページにQRコード有



▲市ホームページのトップ画面

狩猟期間は3月15日まで

森林課 ☎32-2078

県では、鳥獣による農作物などへの被害を防止するため、イノシシとシカの狩猟期間を延長しています。

ハイキングや山菜取りなどで山へ出掛ける時は、目立つ色の服を着用するなど、事故に遭わないように心掛けましょう。

また、狩猟をする人は、ルールとマナーをしっかり守って、事故を起こさないように注意しましょう。

狩猟期間 3月15日(金)まで

対象鳥獣 イノシシ、シカ



※イノシシやシカの生息密度を適正にするための対策です。ご理解をお願いします

狩猟に関する問い合わせ先 美作県民局 森林企画課 ☎23-1384

学びを高める授業・学校づくり

図学校教育課 ☎32-2115

市教育委員会では「ふるさとを愛し、心豊かにたくましく、未来へつなぐ力を育む」を教育スローガンに、児童・生徒の育成を目指して教育内容の充実と教員の指導力の向上に取り組んでいます。そして、その取組を「げんぼプロジェクト」と名付けて、3つの提案と6つの取組を行っています。

津山っ子の学びを高める “3つの提案と6つの取組”

**提案1**  
学習環境を整える

- 落ち着いた教室
- 基礎基本の定着

**提案2**  
活力ある学びをつくる

- 表現する力の育成
- 多様な学習形態

**提案3**  
家庭地域と共に育てる

- 授業と家庭学習をつなぐ
- 情報の発信と共有

**重点的な6つの取組 (3つの提案を学校・教員が具体化する取組です)**

- 学習や生活のルールを全教職員で共有し、児童生徒や保護者へ提示しましょう
- 授業の中で学習のめあてを持たせ、めあてについて振り返る場を設定しましょう
- 言語活動を充実するために、子どもの意見を引き出し、意見の根拠や違いについて話し合う活動を大切にしましょう
- 学習のねらいに応じて、ペアやグループ、集団討議、ICT(情報通信技術)活用などによる多様な学習を工夫して取り入れましょう
- 授業で学んだことを振り返ることができるような家庭学習の仕方を具体的に提示しましょう
- 家庭地域と共に育てるために、ホームページや通信などで子どもの姿が見えるようにしましょう

3つの提案の実践例

提案1 学習環境を整える (小・中学校の連携を深める)

市内で取り組む小・中学校連携事業のうち、加茂・阿波小学校と加茂中学校では、中学校の教員が小学校に出向き、外国語の授業を行ったり、教員が合同で研修会を実施したりするなど、実践研究を行っています。小・中学校の垣根を越えて学習内容を工夫することで、中1ギャップの解消や、9年間を見通した授業づくりが行えます。このことで、学習環境がさらに充実し、成果につながっています。



提案2 活力ある学びをつくる (表現する力や規範意識を高める)

久米中学校では、机をコの字型に配置して、生徒が互いの顔を見ながら、与えられた課題を討議していく授業を行っています。こうすることで「生徒が自ら考え、表現する力」を養っています。鶴山中学校では、規範意識を高めることを目的とした道徳教育の授業研究を行っています。身近な出来事を題材にして生徒の活発な発言を引き出す授業づくりは、岡山県の道徳教育の研究対象になっています。



提案3 家庭地域と共に育てる (家庭での学習時間の充実)

「毎日、家庭学習をする」を目標に、家庭学習の大切さと保護者としてのサポートを示したリーフレットを作成、配布しています。また、家庭学習やテレビ視聴時間の調査を行っています。家庭学習の仕方などを学級で話し合うことで児童生徒のやる気を掘り起こして、家庭学習0時間を解消するなど、学校と家庭が連携して、毎日、宿題をする津山っ子を育てています。

